

# 2010年12月期

---

# 決算説明会

2011年2月23日

**SBSホールディングス株式会社**

[www.sbs-group.co.jp](http://www.sbs-group.co.jp)

# も く じ

- ・2010年度決算及び  
2011年度計画について
- ・2011年度グループ経営について

# 2010年度決算及び 2011年度計画について

SBSホールディングス株式会社  
常務取締役 入山 賢一

# 10年12月期 連結業績(前期比較)



(単位:百万円)

	09年12月期		10年12月期			
	実績値	構成比	実績値	構成比	増減率	増減額
売上高	115,710	100%	119,824	100%	3.6%	4,113
営業利益	2,888	2.5%	4,262	3.6%	47.6%	1,374
経常利益	3,748	3.2%	4,291	3.6%	14.5%	542
当期純利益	1,988	1.7%	2,140	1.8%	7.7%	152

# 10年12月期 連結業績(計画比較)



(単位:百万円)

	10年12月期		10年12月期			
	計画値	構成比	実績値	構成比	増減率	増減額
売上高	116,000	100%	119,824	100%	3.3%	3,824
営業利益	3,800	3.3%	4,262	3.6%	12.2%	462
経常利益	3,800	3.3%	4,291	3.6%	12.9%	491
当期純利益	2,000	1.7%	2,140	1.8%	7.0%	140

# セグメント別業績(前期比較)



## 2010年12月期実績

(単位:百万円)

	物 流	マーケ	人 材	金 融	その他	消去等	合 計
売上高	107,655	1,880	4,303	5,348	635	—	119,824
増減率	2.7%	△47.4%	△14.7%	220.2%	2.5%	—	3.6%
営業利益	2,886	42	20	1,199	△14	128	4,262
増減率	8.9%	38.7%	△86.4%	196.8%	—	—	47.6%
営業利益率	2.7%	2.2%	0.5%	22.4%	—	—	3.6%

10年度に子会社の経営管理料負担を増額改定したため、連結消去前の営業利益が09年度より10年度の方が低く算出されています。09年度を今年と同じ基準に再計算すると以下の赤枠内の数値となります。

## 参考:2009年12月期実績

(単位:百万円)

	物 流	マーケ	人 材	金 融	その他	消去等	合 計
売上高	104,801	3,572	5,045	1,670	620	—	115,710
増減率	△8.4%	△65.3%	△26.8%	△74.7%	△42.8%	—	△17.0%
営業利益	2,262	58	171	392	△41	44	2,888
10年度基準					—	—	△13.1%
営業利益率	2.2%	1.6%	3.4%	23.5%	—	—	2.5%

※当頁の売上高は連結消去後の金額で表示しています。 ※マーケはマーケティング事業の略です。

# 連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2009年 12月末	2010年 12月末	増減額		2009年 12月末	2010年 12月末	増減額
現金及び預金	10,485	7,418	△3,066	支払手形及び買掛金	6,825	7,002	177
受取手形及び売掛金	14,326	15,128	801	短期借入金	25,680	17,670	△8,010
リース債権・投資資産	2,841	2,518	△323	一年以内返済予定 長期借入金	5,648	5,690	41
たな卸資産	10,222	7,810	△2,412	リース債務	1,346	1,208	△137
販売用不動産	(3,443)	(4,059)	(616)	その他流動負債	6,715	6,857	143
不動産信託受益権	(6,568)	(3,555)	(△3,013)	<b>流動負債計</b>	<b>46,214</b>	<b>38,427</b>	<b>△7,786</b>
商品・貯蔵品	(211)	(196)	(△15)	社債	1,360	1,686	326
その他流動資産等	2,232	3,024	793	長期借入金	23,768	19,403	△4,365
<b>流動資産計</b>	<b>40,106</b>	<b>35,898</b>	<b>△4,207</b>	リース債務(長期)	3,823	2,975	△848
有形固定資産	59,762	53,081	△6,681	負ののれん	493	—	△493
リース資産(純額)	(3,943)	(3,205)	(△738)	その他固定負債	11,305	11,300	△5
無形固定資産	598	1,282	684	<b>固定負債計</b>	<b>40,749</b>	<b>35,364</b>	<b>△5,384</b>
その他固定資産	6,733	6,145	△588	<b>負債合計</b>	<b>86,963</b>	<b>73,791</b>	<b>△13,171</b>
<b>固定資産計</b>	<b>67,094</b>	<b>60,509</b>	<b>△6,584</b>	<b>純資産合計</b>	<b>20,238</b>	<b>22,616</b>	<b>2,378</b>
<b>資産合計</b>	<b>107,201</b>	<b>96,408</b>	<b>△10,792</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>107,201</b>	<b>96,408</b>	<b>△10,792</b>

# 財務基盤の健全化

## ■有利子負債の削減に取り組む

2009年12月期末

流動資産 現金預金	流動負債 短期借入金
105億円	257億円
固定資産 有形固定資産	固定負債 長期借入金
597億円	294億円
	社債 16億円

有利子負債	567億円
自己資本比率	18.6%

2010年12月末

流動資産 現金預金	流動負債 短期借入金
74億円	177億円
固定資産 有形固定資産	固定負債 長期借入金
531億円	251億円
	社債 19億円

有利子負債	447億円
自己資本比率	23.2%

財務基盤の  
健全化

有利子負債を  
120  
億円削減

※固定負債の長期借入金と社債には、1年以内の返済分、償還分も含んでいます。

# 連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	09年12月期	10年12月期	増減額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,901</b>	<b>7,939</b>	<b>6,037</b>
(内 税金等調整前当期純利益)	4,427	3,968	△458
(内 減価償却費)	4,130	3,799	△330
(内 負ののれん償却額)	△1,619	△556	1,063
(内 たな卸資産の増減額)	△2,475	2,247	4,722
(内 利息の支払額)	△796	△685	110
(内 法人税等の支払額)	△1,229	△1,681	△452
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>11</b>	<b>3,059</b>	<b>3,047</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,341</b>	<b>△14,071</b>	<b>△7,729</b>
現金及び現金同等物に係る換金差額	△0	0	0
現金及び現金同等物の増加・減少額	△4,428	△3,072	1,355
現金及び現金同等物の期首残高	14,821	10,455	△4,366
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>10,455</b>	<b>7,382</b>	<b>△3,072</b>

【メ モ】

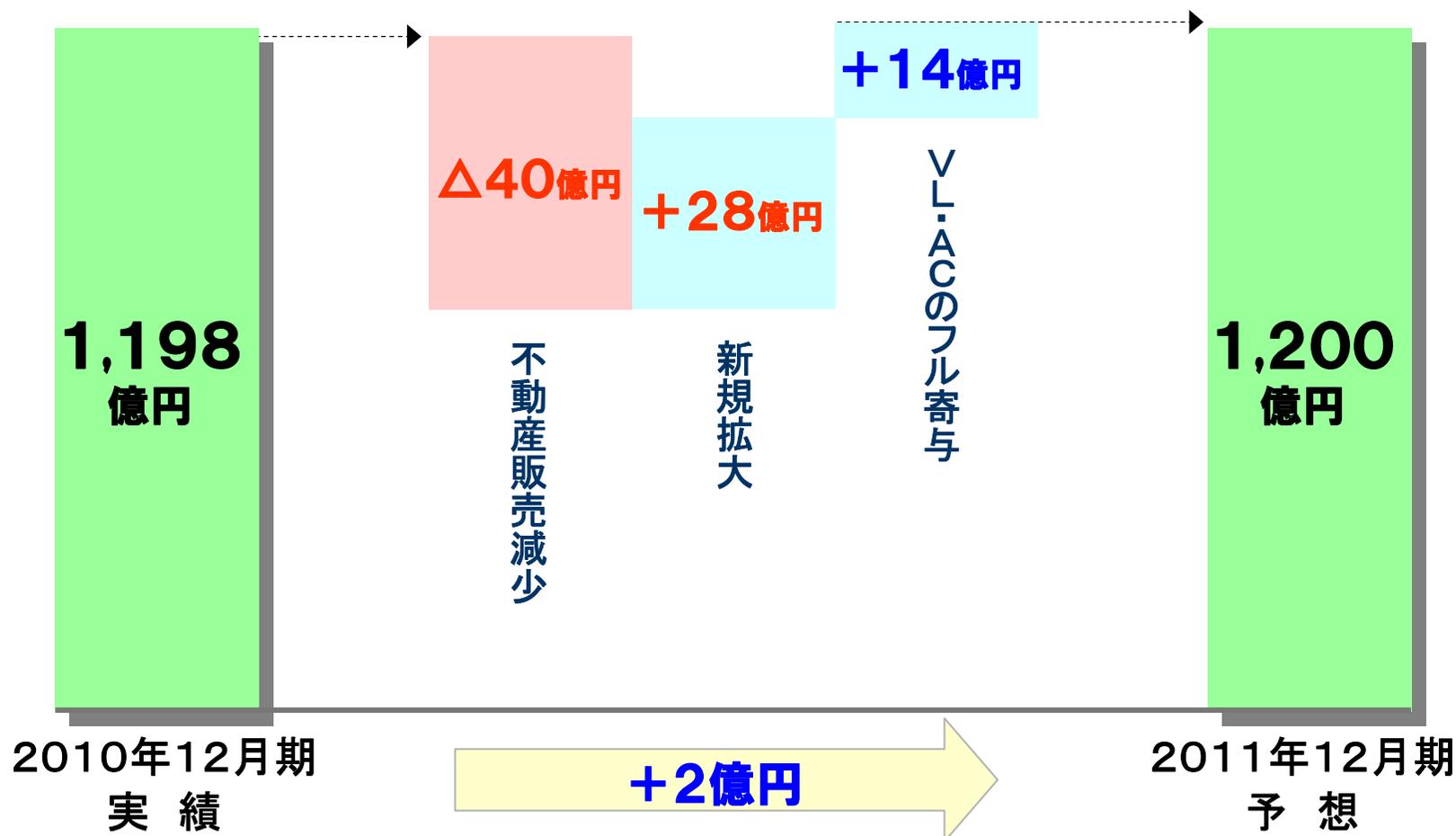
# 11年12月期 連結業績予想



(単位:百万円)

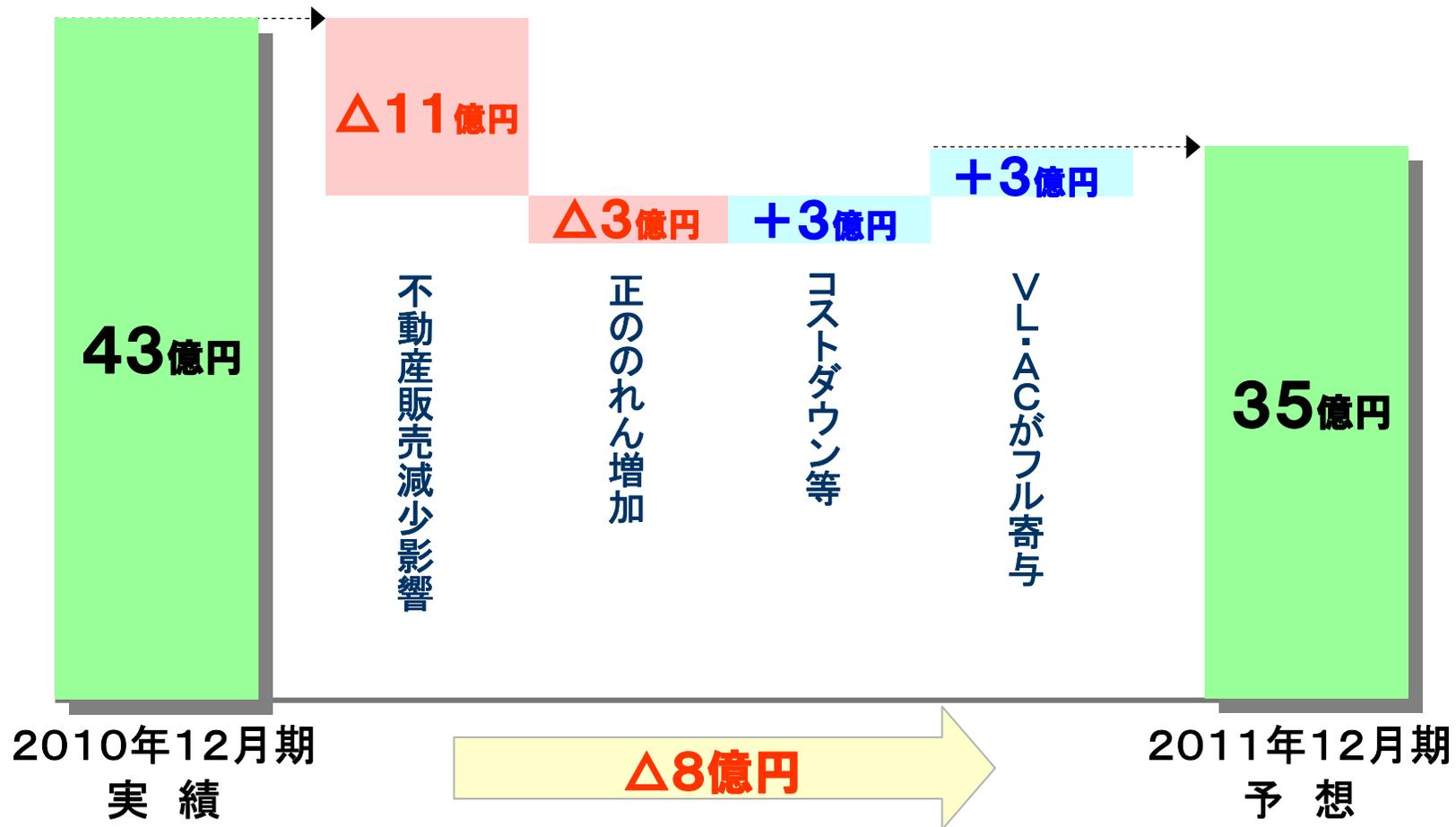
	10年12月期		11年12月期		
	実績値	構成比	予想値	構成比	増減率
売上高	119,824	100%	120,000	100%	0.1%
営業利益	4,262	3.6%	3,500	2.9%	△17.9%
経常利益	4,291	3.6%	3,000	2.5%	△30.1%
当期純利益	2,140	1.8%	1,700	1.4%	△20.6%

# 売上高予想の前期比増減要因



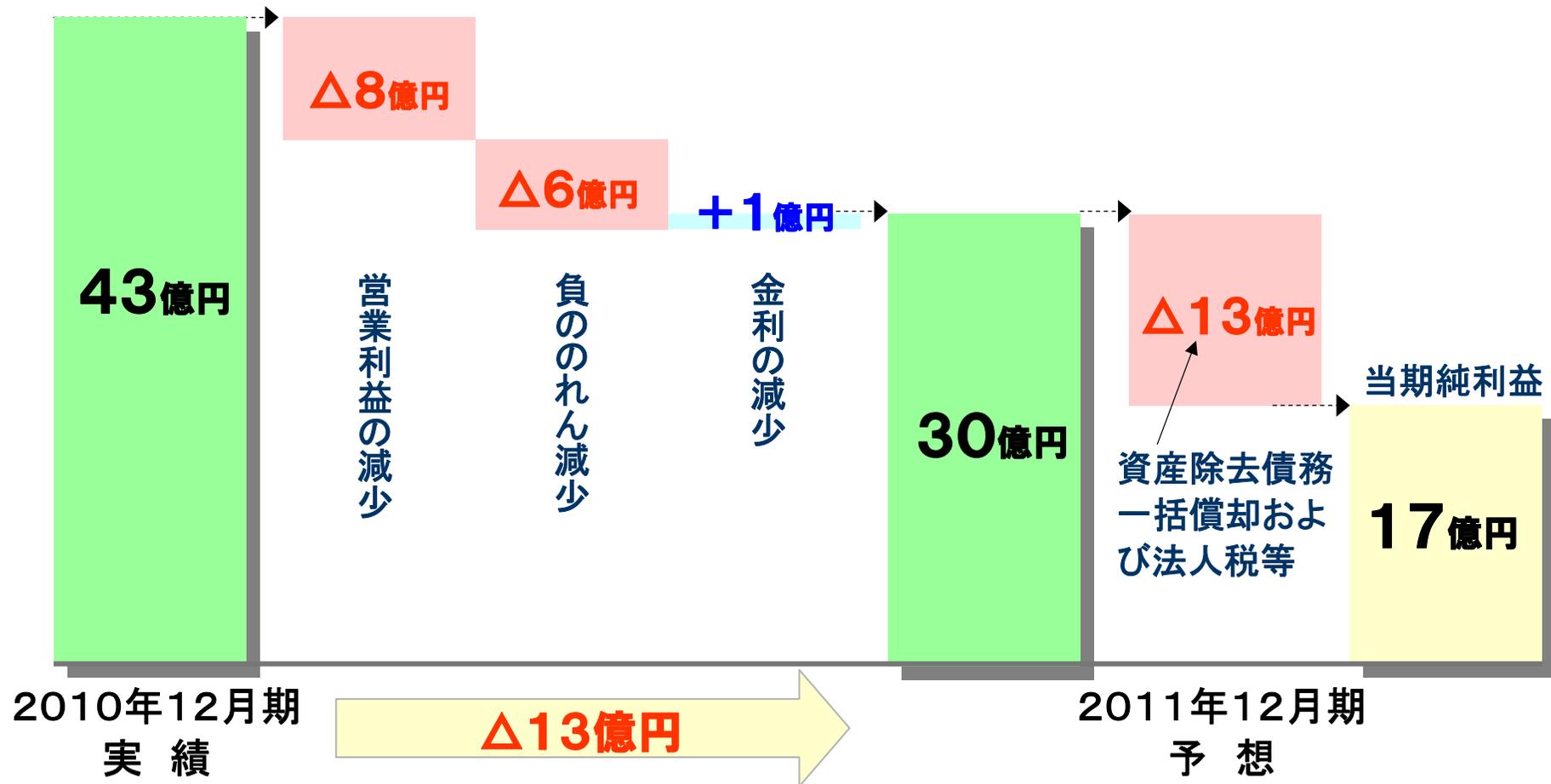
注) VL・ACは、2010年度グループ化したVLロジネット、エイシーシステムコーポレイションの2社です。

# 営業利益予想の前期比増減要因



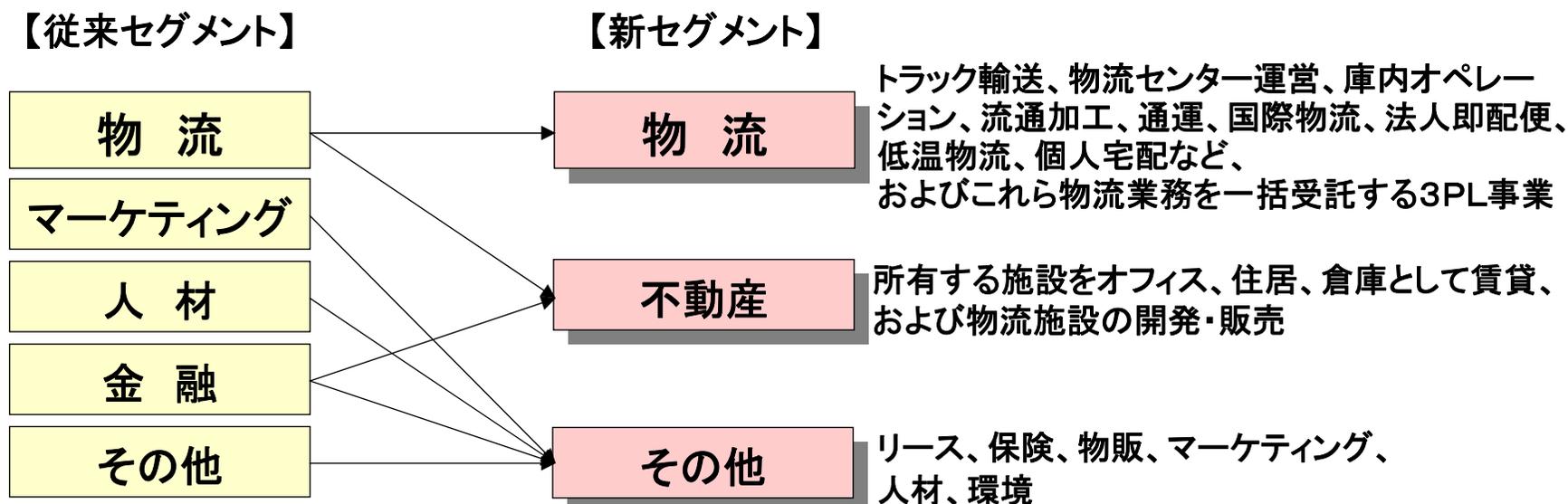
注) VL・ACは、2010年度グループ化したVLロジネット、エイシーシステムコーポレイションの2社です。

# 経常利益予想の前期比増減要因



# セグメントの変更について

- 経営管理および事業規模の面から見直す
- 従来の5セグメントから3セグメントへ



- 不動産関連事業をひとつのセグメントに括る
- 小規模なマーケティングや人材などをその他へ

# 11年12月期 業績予想(セグメント)



## ■ 通期予想

(単位:百万円)

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	109,200	2,300	8,500	—	120,000
増減率	4.3%	△62.4%	△5.4%	—	0.1%
営業利益	2,140	1,100	140	120	3,500
増減率	20.4%	△51.5%	57.3%	—	△17.9%
営業利益率	2.0%	47.8%	1.6%	—	2.9%

## 参考:新セグメントによる前期実績

(単位:百万円)

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	104,725	6,109	8,989	—	119,824
増減率	—	—	—	—	3.6%
営業利益	1,778	2,266	89	128	4,262
増減率	—	—	—	—	47.6%
営業利益率	1.7%	37.1%	1.0%	—	3.6%

※当頁の売上高は連結消去後の金額で表示しています。

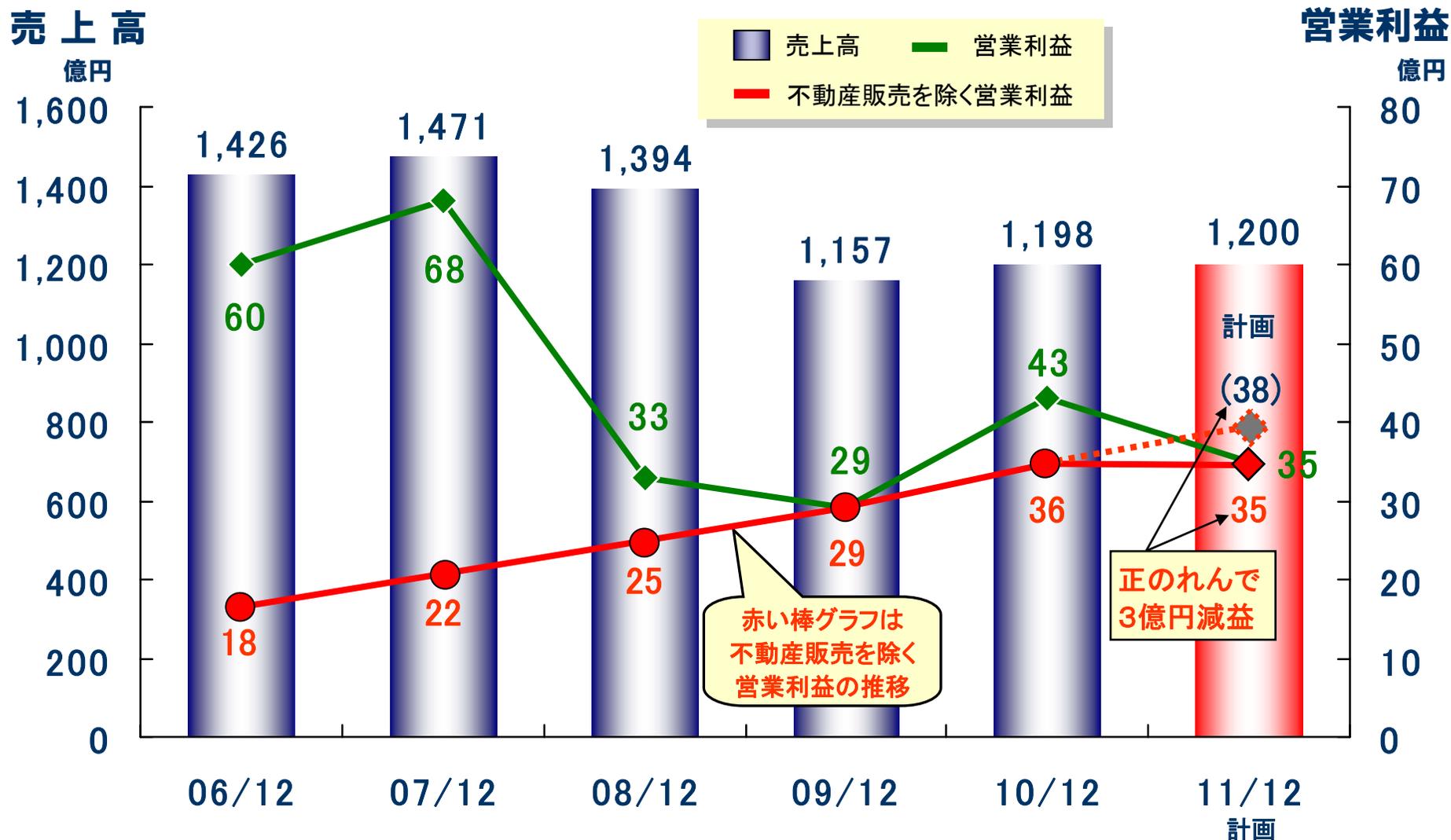
※新セグメントによる前期実績については、試算による参考値のため今後変更の可能性があります。

# 2011年度 グループ経営について

SBSホールディングス株式会社  
代表取締役 鎌田 正彦

# 5年間の業績動向と計画

## ■不動産販売を除く業績は順調に伸長



# 物流事業の動向について



## ■ 物流事業は、増収・増益を確保

- メーカー系や輸出関連は一旦回復、その他は回復まで至らず
- デフレによる商品価格低下やお客様からの値下げ要求続く
- 一昨年後半から実施したコスト削減対策が奏功、収益貢献
- 燃料価格が徐々に上昇、原価負担が増加
- 新規顧客の獲得

### ■ 通販・ネット通販

- ・健康・美容通販
- ・オフィス向け文具通販

### ■ 食品メーカー

- ・乳業メーカー(九州)
- ・乳業メーカー(東北)

### ■ 電機メーカー

- ・日本ビクター
- ・ケンウッド

## ● M&Aで2社をグループ化

### ■ ビクターロジスティクス(現、VLロジネット)

- ・電機メーカー物流の実績とノウハウ
- ・国際物流の実績とノウハウ
- ・3PL拡大とSBSグループ国際物流推進へ

### ■ エイシーシステムコーポレーション

- ・輸出入通関業務の専門企業
- ・アパレル・鞆などに高い輸入ノウハウ
- ・SBSグループの国際物流の推進役へ

# 物流不動産販売について



## ■ 販売用物流不動産の売却

名称	所在地	簿価	土地	延床	竣工	価格	売却先
入間物流センター	埼玉県 入間市上藤沢	29億円	2.6万㎡	2.6万㎡	2008年	34億円	メープルツリー
岩槻物流センター	埼玉県 さいたま市岩槻区	持分28.5%	3.9万㎡	2.8万㎡	2007年	—	メープルツリー

※売却先のメープルツリーは、シンガポール政府系リート会社の子会社です。

※岩槻物流センターの持分にかかる売却益は2億円です。

※この2物件の売却益7億円は、営業利益に計上されております(2010年12月期)。

## 参考：物流不動産の流動化

名称	所在地	簿価	土地	延床	竣工	価格	流動化先
野田物流センター	千葉県 野田市木野崎	47億円	2.4万㎡	3.6万㎡	2009年	50億円	メープルツリー

※同センターは、流動化後も賃貸契約を締結し、引き続きSBSグループの基幹センターとして使用しています。

※流動化による利益は、特別利益に計上されております(2010年12月期)

※当頁の売却および流動化によって回収した資金85億円は、有利子負債の返済に充てております。

# 2011年度からの重点目標



## ■4つの戦略を実行する

業界トップ10に入る

### 全方位の物流機能を持つ3PL企業集団



M&Aの活用、物流施設開発・提供

3PLと安定基盤(食品)

事業戦略

アジア展開で市場開拓

海外戦略

投資と財務のバランス

投資戦略

基盤戦略

ローコストオペレーション体制構築、シナジーが発揮できるグループ基盤整備

## ■ 3 P L 事業の拡大

- 業種・業態、商材別に物流機能を整備
- ローコストオペレーション体制の確立
- 3 P L 拠点となる物流施設開発と提供
- 収益の柱として育成

## ■ 安定基盤として食品物流を強化

- 連結売上高の5割を超える食品物流に注力
- 需要は他商材に比べ安定的である
- 社会の成熟化に伴って低温物流需要は拡大
- 安定したキャッシュ・フローが期待できる



M & Aで成長を加速

## ■アジアで稼げる企業グループへ

### ●中国

- ・上海の拠点の強化
- ・進出日系企業の需要獲得
- ・中国国内物流へ参入
- ・パートナーの発掘
- ・提携やM&Aを視野に

### ●ASEAN、インドなど

- ・パートナーの発掘
- ・提携やM&Aを視野に



# 投資戦略

## ■ 資金確保と財務健全性のバランスを意識した投資

## ■ M&Aへ資金を投入

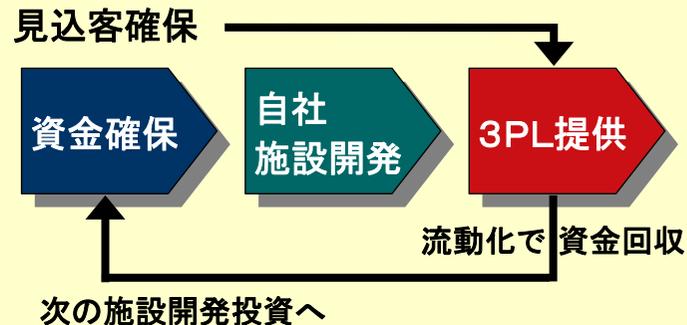
### <M&Aの厳選>

既存事業とのシナジー効果  
規模と収益性への貢献評価

- 3PL事業の拡大
- 優良顧客の獲得
- 食品物流分野の強化
- 海外展開パートナーの確保

## ■ 施設開発はノン・アセット型で

### <従来の方法>



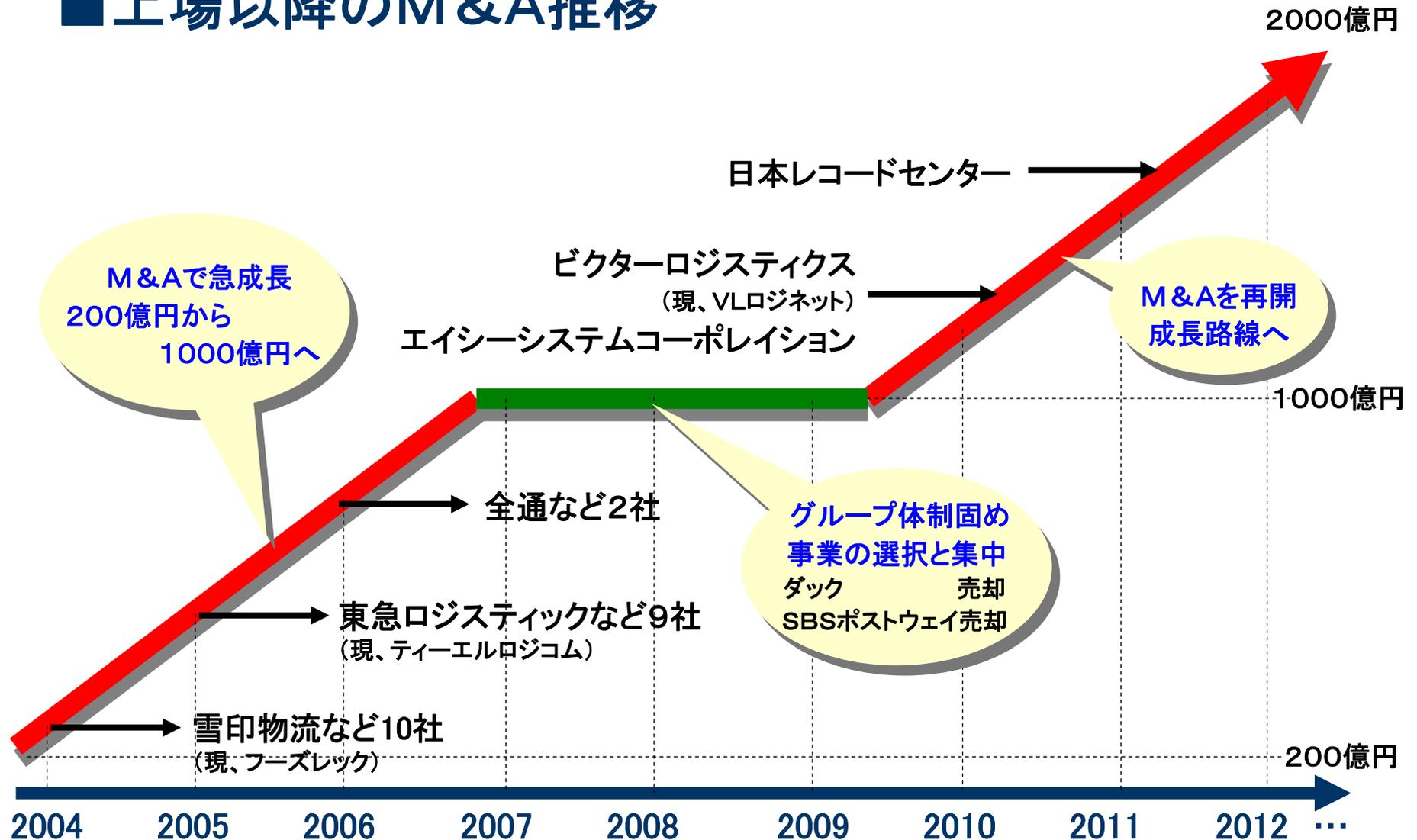
### <今後取り組む方法>



# 積極的なM&Aで成長を加速



## ■ 上場以降のM&A推移



# 物流不動産の現状と今後の投資



## ■稼働中案件

開発名称	土地(坪) 建物(坪)	竣工日	投資額	稼働状況		利回り	B/S 計上科目	保有会社
①京田辺(京都)	7,920 11,369	07年4月	36億円	賃貸中	酒造メーカー	8.1%	たな卸資産 不動産信託受益権	エーマックス (SPC 新橋キャピタル)
合計	7,920 11,369		36億円					

## ■開発待ち案件

開発名称	土地(坪)	取得日	投資額	立地環境	B/S 計上科目	保有会社
①長津田(横浜)	18,809	06年6月	41億円	横浜インターすぐそば	たな卸資産 販売用不動産	エルマックス
②芝山(千葉)	33,954	07年6月	3億円	成田空港近く	固定資産	SBSホールディングス
③野田(千葉)	5,100	06年12月	10億円	国道16号線沿い	固定資産	ティーエルロジコム
④幸浦(横浜)	4,776	06年3月	22億円	TL横浜金沢支店隣接地 同支店と合わせて1万坪	固定資産	ティーエルロジコム
合計	62,639		76億円			

・開発段階からファンド等と組み、ノン・アセット型で開発する

# 日本レコードセンター【2月10日に公表】



## ■経緯

- ・JVCケンウッドグループの物流子会社
- ・最終合意協議中、4月SBSグループ入りをめざす

## ■特徴・強み

- ・CDやDVDなどのパッケージソフト物流
- ・多品種少量商品の物流ノウハウ



本社・上落合DC全景(神奈川県厚木市)

## ■今後の展開

- ・現業務は、3PL事業として当社グループが継続受託する
- ・配送業務などを当社グループ内へ取り込む
- ・需要に対応した物流センターの最適化を行う

## ■業績への貢献見込み

- ・11年12月期へは、9か月間(4月グループ入り想定)で売上高27億円、営業利益1億円を見込む

【メ モ】

【メ モ】